

平成26年6月10日
 環境管理責任者

環境報告書（第十一回）

第89期(H25年度・25.5/21～26.5/20)

当社足立生産センターにおける環境活動も、スタート以来丸10年を経過致しました。お陰様を持ちまして、関係各位のご支援をいただき、一定の成果を得ることが出来ましたこと、深く感謝する次第です。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひいたします。

当社足立生産センターにおける本年度(89期)環境マネジメントシステム(EMS)の状況についてご報告いたします。

■ 目的・目標活動結果

著しい環境側面	環境への影響等	是正措置等
損紙の発生	地球環境(森林資源)を守る	89期は難易度の高い薄紙印刷の需要増と、印刷部数の小ロット化が一段と進む中、僅かながら目標達成には至らなかった。今後は、小ロットへの対応策を含め、作業全般の見直しや技術者のスキルアップを計りながら目標達成を目指し継続して取り組んでいく。
電気を使用する ガスを使用する	有限なエネルギー資源を有効に使う	数年来取り組んできた冷暖房温度管理、機械停止時の運用改善等の効果が定着する等して、電気は目標を達成することが出来た。ガスについては、僅かながら目標達成には至らなかった。今後も、年間を通しての節電対策等を強化しながら推進していく。
廃インキの削減	廃棄物を削減し省資源に努める(プラスの環境側面)	インキ在庫の的確な管理と、適切な発注を心掛けることの徹底などにより、目標を達成することが出来た。今後は、調肉用への利用等を含め、インキの再利用の検討も進め推進していく。
ロスミスによる用紙使用量の削減	廃棄物を削減し省資源に努める(プラスの環境側面)	仕事内容の適切な把握、技術者の意識向上を図りながら取り組んだが、僅かながら目標達成には至らなかった。今後は、作業前打合せの精度向上、効率化、改善等を図りながら推進していく。
廃棄物の削減	廃棄物を削減し省資源に努める(プラスの環境側面)	廃棄物の分別を強化し、廃棄物のリサイクル化をより推進したことにより、一般廃棄物の削減に繋がり目標を達成することが出来た。今後も継続し推進していく。

■ 主な活動状況

- 当社は印刷オペレータや営業社員に対して、積極的に外部教育機関へ派遣し、印刷技術・知識の向上を図っている。同時に環境活動(力量)へのスキルアップ改善へもつなげ、損紙削減活動等にも寄与している。
- 前期(89期)は、最新の省エネタイプの印刷機への更新を実施した他、ここ数年来資源を投入して印刷機オーバーホール、空調設備の省エネタイプ更新等を実施して、印刷環境の整備を図っている。
- 周辺設備においても、冷却水チラーポンプやコンプレッサーのインバーター化も実施し、その結果、省エネ活動に大きく寄与してきたと思われる。

以上のような活動を今後とも展開し、環境活動に貢献できる会社を、更に目指していきます。